

NUBIC 知的財産情報開示

開示日：2020年3月23日

各 位

NUBIC 知的財産情報の要約を公開いたします。

技術移転等を御希望の場合は、ホームページの「[NUBIC 技術シーズ案件申込](#)」フォームからお申込みください。各担当コーディネーターから御連絡申し上げます。

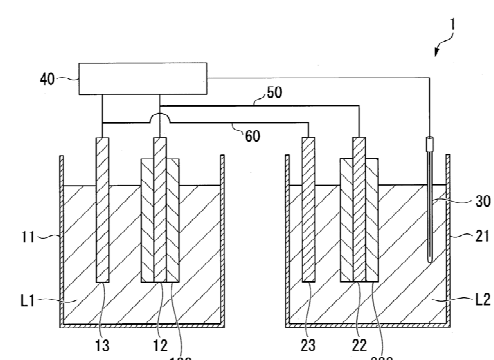
「[NUBIC 技術シーズ案件申込](#)」フォーム：

[TOP](#) > [共同・受託研究](#) > [申込書／契約書](#) > [本学研究シーズの利活用の申込み](#) > [WEB](#) から

出願番号 2019-158477

整理番号 12245

担当者 渡辺 麻裕

表題	電気化学測定装置		
発明の概要・応用	<p>【課題】 電気化学測定は、参照電極を試料に浸漬する必要があるため、特殊な参照電極が使用可能である測定条件又は当該参照電極を正常に使用することができる測定条件の下でしか電気化学測定を実行することができない。また、仮に連結されたセル以外の槽等に参照電極を挿入し、セルと当該槽等とを塩橋、液絡等で接続した場合、これらの塩橋、液絡等を正常に使用することができる測定条件の下でしか電気化学測定を実行することができない。</p> <p>【解決手段】 溶液内の作用電極の電位を、その溶液には参照電極を浸漬せず、別の溶液に参照電極を浸漬して制御する方法を開発した。 具体的な方法は、電位を制御したい作用電極と対極を浸漬した電解槽と、それとは別に用意した電解槽に作用電極、対極、参照電極を浸漬したものを用意する。二つ電解槽に浸漬された二つの作用電極を配線でつなぎ、同じく対極同士もつなぐ。この実験装置で作用電極、対極、参照電極をポテンショスタットに繋いで作用電位に電位を印加すると参照電極と同じ電解槽に浸漬されている作用電極だけでなく、もう一方の電解槽に浸漬されている作用電極も制御できる。これにより、作用電極と対極だけを浸漬した電解槽で作用電極の電位を制御することが可能になる。</p> 		
発明の特徴・効果	高温、高压、微小空間などの多様な測定条件の下で電気化学測定を実行することが可能となる。		
技術分野	電気・電子	化学・薬品	



【問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp